

〈第 1 章〉 研究概要

1 研究主題

(1) 研究主題

「実践的な指導力の向上を図る教員研修の在り方」

(2) 主題設定の理由

平成 21 年度までの研修が一区切りつき、平成 22 年度の方向性を検討する際、「学習指導の実践検証は各学校でも行っている。後志研修センターとしては教員研修の在り方、工夫などを行うべきであろう。」というような意見が出された。そこで平成 22 年度から新たに「校内研修に関する調査研究委員会」を組織し 3 カ年計画で平成 24 年度まで調査研究を進めてきた。また、今年度については単年計画として、授業研究を核とし学習指導や管内各校との連携を更に深め理論の実践の進化、発展をめざしていくこととした。

後志の抱える課題

後志では、近年生徒数の減少に伴い大規模校が減少し、学年 1～2 クラスの小規模校が増加している。また、各学校の 40 歳以上の一般教員が減少しており、30 歳そこそこで、ミドルリーダーとしての役割・力量を求められる現状となっている。そのため、同じ教科の先輩教員が自校には存在しなかったり、20 歳代後半から 30 歳前半で校内研修を担当せざるを得ない状況であったり、各学校における教員の力量形成が十分になされにくくなってきている。

学校の課題

このような状況から各学校の校内研修では、「校内研修が日常実践につながらない」、「具体的で効果のある校内研修の改善策が全体のものにならない」などの課題が挙げられている。

教員の課題

さらには、個々の教員は、「校外研修に行く時間がなかなかとれない」、「人数が少なく、多様な考えが出にくい」、「研修の進め方について相談できない」などの課題を抱えて日々の実践を行っているのが現状である。

そこで、校内研修に関する調査研究委員会では、教員の実践力向上のために、「①各学校の校内研修の充実を図る」、「②校内研修担当者の育成を図る」事を目的とし、本研究主題を設定した。

2 研究の視点

視点 1

授業研究を核とした校内研修の在り方

視点 2

マネジメントサイクルを機能させた校内研修体制の確立

3 研究計画

(1) 年次計画

第1年次 研究計画

【第1年次】平成22年度【2010年度】

- 「研究主題」「主題設定の理由」「研究の視点」の決定
- 校内研修支援に関わるアンケート調査の実施
- 校内研修の現状や問題点の把握
- 中間報告書の作成

第2年次 研究計画

【第2年次】平成23年度【2011年度】

校内研修支援の充実

- 校内研修の課題の絞り込み
 - ◇課題の検証
 - ◆校内研修の進め方〈研究視点1〉
 - ▽ワークショップを取り入れた校内研修 など
 - ◆研修の評価〈研究視点2〉
 - ▽評価を位置づけた校内研修
 - ▽評価の場面
- 中間報告書の作成

第3年次 研究計画

【第3年次】平成24年度【2012年度】

校内研修支援の充実

- 校内研修の課題の絞り込み
 - ◇課題の検証
 - ◆校内研修の進め方〈研究視点1〉
 - ▽ワークショップを取り入れた校内研修 など
 - ◆研修の評価〈研究視点2〉
 - ▽評価を位置づけた校内研修
 - ▽評価の場面
 - ◇発信 困り感からQ&Aの作成、研修講座への還元
- 研究の成果と課題の整理
- 研究紀要（最終報告）の作成

単年度 研究計画

【単年度】平成25年度（2013年度）「理論研修と実践」

- これまでの振り返り
- 所員の検証授業
- 研修講座「学習指導」「校内研修」の開催、運営
- 中間報告書の作成、報告会に向けた準備、発表
- 研究紀要No.88作成

これからの教員に求められる資質・能力

教職に対する強い情熱

総合的な人間力

優れた教師の条件

教育の専門家としての確かな力量

後志の学校現場の現状

- 大規模校が減少し、1～2クラスの小規模校が増加している。
- 40代以上の一般教員の減少に伴い、30代前半でミドルリーダーとしての力量を求められている。
- 同じ教科の先輩教員が自校にいなかったり、20代後半から30代前半で校内研修を担当している。

実践的な指導力の向上

[学校が感じている課題]

- ・ 校内研修が日常実践につながらない
- ・ 具体的で効果のある校内研修の改善策が全体のものにならない。

[教員が感じている課題]

- ・ 校外研修に行く時間がなかなかとれない
- ・ 人数が少なく、多様な考えが出にくい
- ・ 研修の進め方について相談できない。

校内研修の充実

研究主題

「実践的な指導力の向上を図る教員研修の在り方」

視点1 授業研究を核とした校内研修の在り方

視点2 マネジメントサイクルを機能させた校内研修体制の確立

1年次目

- アンケート調査
- アンケート集計
- 現状・問題点の把握

2年次目

- 課題の絞り込み
- 実践交流、理論の構築

3年次目

- 実践検証、理論の構築
- 発信
 - ・ 研修講座への還元
 - ・ 困り感からQ&Aの作成
- 評価